

令和3年北海道森づくり研究成果発表会について

企画調整部普及グループ 主査（普及）曳地 孝夫

道総研森林研究本部（林業試験場・林産試験場）では、森林整備や木材利用に関する研究成果、技術、活動事例をわかりやすく紹介し、本道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的として、北海道水産林務部と連携して北海道森づくり研究成果発表会を毎年開催しております。

本年は、令和3年5月14日（金）・札幌市教育文化会館（札幌市）において、令和3年北海道森づくり研究成果発表会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催方法を変更し、公開期間限定（令和3年6月1日（火）から令和3年6月30日（水）まで）のWeb配信で発表課題（研究成果）を紹介することとしました。

開催方法は、口頭発表についてはYouTube動画で、ポスター発表についてはホームページで公開しました。

発表会では、一般の部として行政機関や国の研究機関から、口頭発表4件、ポスター発表3件の計7件、道総研森林研究本部の部では、4つのテーマ「1 森林資源の循環利用のために～林業技術～」 「2 森林資源の循環利用のために～林業試・林産試共同による林業・木材利用技術～」 「3 森林資源の循環利用のために～木材利用技術～」 「4 森の役割と森からの恵み」に沿って口頭発表9件、ポスター発表25件の計34件、全体として41件の発表を行いました。

今回、より多くの皆様にご覧いただき、研究成果の普及と新たな研究ニーズの把握に繋げることを目的として開設したYouTubeチャンネルでは、道総研森林研究本部の研究概要を示したダイジェスト版動画も加え、計13件の口頭発表課題を紹介したところです。

林業試験場からは、「1 森林資源の循環利用のために～林業技術～」のテーマで、以下の5件の口頭発表課題を紹介いたしました。

- カラマツ・トドマツ人工林における風倒害リスク管理技術
- 北上するナラ枯れ -道南でカシノナガキクイムシを初捕獲-
- 遺伝子発現を活用した森林病虫害診断の可能性
- UAVとAIを活用した人工林資源推定手法について
- 実証試験を通してカンバ材の合板への利用可能性を探る

本号では、上記課題を新たにポスター版として作成したものを加え、林業試験場のポスター発表の全13件について紹介しますので、ぜひ一読ください。

森林研究本部ホームページのイメージ



森林研究本部YouTubeチャンネルのイメージ

